

砲兵将校旧型野戦帽



俗に言うクラッシュキャップです。34年に陸軍の将校用野戦帽として制定されました。38年に舟形略帽に置き換えられたことになるはずなのですが、終戦まで数多く着用されました。

クラッシュキャップも、当時のドイツ軍における将校用被服の例にもれず、帽子の形状や、使用された素材に数多くバリエーションが存在します。